

<「フィガロの結婚」アオヒトと舞台、演者との位置づけ>

アオヒトは、「フィガロの結婚」舞台のオルゴール化を目指しています。

現実の舞台は、アオヒトが自分自身を内蔵させたイメージ空間です。

演者の人形たちは、自分たちが操られていることなどまったくわかりません。

ですから、舞台上のアオヒトのことはまったく無視して結構です。

アオヒト



⇨オルゴール例



<文楽のメイク>

<段ボール胴体>

<文楽の胴体模式図>

<参考>段ボールの胴体は、文楽人形の胴体と構造的に類似しています。

メイクは、文楽人形の眉毛を太くまるっぽくし、目を大きく見せるものにする予定です。